

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
青森県	黒石市	黒石地区	平地農業地域	令和3年度	令和5年度	黒石市

(注) 農業地域類型欄には、地区の農業地域類型(都市的地域、平地農業地域、中間農業地域、山間農業地域)を記載すること。

I 助成対象者ごとの成果目標の未達成理由等

No.	助成対象者名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1	***	経営面積の拡大	出し手農家との調整等に時間を要し、計画的な利用集積ができなかったことや、集約化できるほ場条件の良い農地が少なかったことが原因と考えられる。	農地情報の提供、農地中間管理機構の活用及び関係機関とのマッチングを進め、目標年度の達成を見込ませる。
2	***	経営面積の拡大	出し手農家との調整等に時間を要し、計画的な利用集積ができなかったことや、集約化できるほ場条件の良い農地が少なかったことが原因と考えられる。	農地情報の提供、農地中間管理機構の活用及び関係機関とのマッチングを進め、目標年度の達成を見込ませる。
		輸出の取組	輸出業者とのマッチングがうまくいかなかったことが原因と考えられる。	令和5年産輸出計画では20, 200kgとなっており、目標年度の達成が十分見込まれる。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	出し手農家との調整等に時間を要し、計画的な利用集積ができなかったことや、集約化できるほ場条件の良い農地が少なかったことが原因と考えられる。	農地情報の提供、農地中間管理機構の活用及び関係機関とのマッチングを進め、目標年度の達成を見込ませる。
輸出の取組	輸出業者とのマッチングがうまくいかなかったことが原因と考えられる。	令和5年産輸出計画では20, 200kgとなっており、目標年度の達成が十分見込まれる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用集積等の現状をみると、担い手の高齢化問題、耕作放棄地の拡大等の課題がある。 今後は、新規就農者の拡大や若手の担い手の育成に努める。耕作放棄地については、担い手の高齢化や労力不足等により拡大しており、好条件の農地(耕作しやすい)に移行する傾向にある。農地利用集積については、農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進することとし、集落営農の育成等を強化する。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 将来の地域農業に関する地区全体のコンセンサスが十分にまとまっていない地区における中心経営体(集落営農、新規就農者、若手の担い手)の育成・確保に向けた検討等を行っていくこととする。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 令和2年3月25日に人・農地プランを実質化した。今後も担い手の確保に努め、農地の利用集積を図りたい。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後の支援のあり方について、中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、関係者、JA、農業普及普及振興室等と定期的に情報交換し検討する。</p>
--

[記入要領]

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、助成対象者の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
なお、必須成果目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導内容を記入すること。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。